

2016年  
新春

# 平和・暮らしを守る政治を！！

日本  
共産党



## ▶ 来年度の国民健康保険税の値上げは止めよ！

1月12日（火）に青梅市国民健康保険運営協議会が開催され、傍聴しました。来年度の国保税の税率改定（値上げ）についての答申案が出されました。

協議会では、委員から、「消費税率アップも今後予定されているし、経済状況も悪く、滞納者が増えるといけなないので、5%ではなく3%改定でいい」「市民税も、介護保険も高い。夫婦で年金もらっていても、一人分は支払いにふっ飛ぶ。税金の制度を抜本的にどうにかしないといけない」などの意見が出されました。市の長期計画では税率改定を5%としていましたが、委員会では多数決で、平均5%ではなく3%にする答申案が決定されてしまいました。

国民健康保険税は、市民の約4割の世帯、人口比では約3割が加入し、高齢者、自営業者など、低所得者も多いのが実状です。市民の間からも、暮らしが大変なとき、値上げはしないで引き下げてほしいという声があります。

国が国庫負担の割合を減らしてきたことや、都道府県の広域化で更なる値上げが行われようとしていることも問題です。この値上げの条例については、2月23日から開会予定の2月定例議会で審査が行われます。

日本共産党は、一貫して、国の補助金の増加や一般会計からの国保被保険者への繰入金を他市なみに引き上げて（平成25年度一人当たり青梅市は、6.1%。羽村市は11.6%。福生市9.7%）負担を軽くすることを求めています。

連絡先藤野ひろえ  
TEL76-1670  
FAX76-2024  
090-4003-9987

藤野ひろえ市議会報告

No.35

2016年 1月

## ● 新市長に対する藤野ひろえの一般質問

### 大型開発への固執はやめ、暮らし・福祉・教育の緊急課題に力をつくすべきです。

私は、浜中新市長に対して①青梅インター周辺開発計画を白紙に戻し、幹線道路計画の見直しをすすめること、②来年度の国民健康保険税、下水道料金、保育料の値上げは行うべきではないこと、③中学生の修学旅行や通学費の補助を行うこと、1学級を35人以下にすること、特別教室（理科室など）へのエアコン設置を早急に進めること、④青梅駅前活性化のために地元商店の要望にそった支援策の拡充を求めました。

市長は代わりましたが、暮らしや福祉・教育の問題については「財政がきびしい」と言いながら、多額の税金を使い、成功する保証もない大型開発計画については「推進する」という姿勢は、従来の市長とまったく変わらないものでした。医療・介護や子育ての現場から悲鳴があがっている今、古い計画に固執する市政のあり方こそ変えるべきです。

### ◆他の自治体では「当たり前」！ コミュニティバス・デマンドタクシーの実現など公共交通の充実を求めました

「足の確保」、「買い物難民対策」は青梅市で暮らしつづけていくための市民の切実な願いです。9月1日から、西東京バスが青梅駅～御岳ケーブル下まで、新たに運行を始めたことは大変よかったと思います。

これらのさらなる充実を市として民間事業者に要望していくこととあわせて、やはり市の責任としてコミュニティバスやデマンドタクシーを早期に走らせることが必要です。

青梅市は、すでに10年以上前から公共交通の充実について「検討」をしていますが、この具体化がいっこうにすすみません。私は、この問題について進捗状況などを質問しました。

新しい年を迎えました。  
去年は、戦後70年の節目の年でしたが、国政では、戦争法が強行され、これに反対する、平和と民主主義を守る国民の運動が、青梅市においても広がりました。



4月の市議会議員選挙では、日本共産党は、2名から3名に議席を増やすことができました。  
今年も市民の皆様の期待や願いに応えられるように、平和と暮らしを守るために、公約実現へ全力を挙げていく決意です。

12月議会の概要をお知らせします。

### ミニ講座 & 無料相談会 in 青梅

日時 / 2016年2月27日(土) 13:30~14:20 ミニ講座  
14:45~16:15 無料相談会

テーマ / 相続・遺言 エンディングノート

講師 / 弁護士 大浦郁子

会場 / 青梅市福祉センター 和室

JR 青梅線 東青梅駅 徒歩5分

共催 / 三多摩法律事務所 日本共産党青梅市議団

※どちらも予約制です。※どちらかのご参加も可能です。

※相談時間は30分

お問い合わせ・お申し込み

☎042-524-4321